



広げよう！ 広がろう！ 学校の応援団

学校支援活動の紹介

造 道 中 学 校



校 長 前田眞己先生 生徒数 479人

造道地区の造道中学校は、平成 27 年度に本事業を開始しました。当初は、図書室の環境整備を中心とした活動でしたが、現在は生徒の教育活動を幅広く支える、色々な活動を推進しています。その中からいくつか、活動の様子を紹介します。

学習活動への支援

総合的な学習の時間において、1 学年では多種多様な職業の講話、2 学年では校外での職業体験を実施しています。各事業所からの連絡等で、学校支援コーディネーターが活躍しています。

安全確保への支援

2 学年で行う宿泊を伴う校外学習では、学校支援ボランティアから、生徒の安全のための見守り活動の協力を得ています。また、夏休み中に約 1 週間、自学自習の教室「チャレンジアップ教室」を開設していますが、そこにおいても生徒たちの見守り活動に協力いただいています。

部活動への支援

担当教師の他、外部コーチによる部活動の支援を受けています。現在 11 名程のボランティア登録があり、卓球、バレーボール、ソフトテニス、陸上部において協力いただいています。

その他

造道中学校区連絡協議会には、2 人の学校支援コーディネーターも参加し、地域の情報を共有するようにしています。

また、先生方からアンケートを取ることで、どのようなニーズがあるか把握するようにしています。

環境整備への支援

生徒と図書ボランティアの方々と一緒に図書室の整備をしています。図書の紹介コーナーの設置や本のフィルムコート等メンテナンスの面でも活躍していただいています。玄関前の花壇も、学校支援ボランティアの協力を得ています。

前田校長先生、一言お願いします



本校には 2 名の学校支援コーディネーターが配置されており、小・中の連絡協議会にも参加いただく等、地域との太いパイプ役を担っていただいております。

今、地域に開かれた教育課程の実践が求められていますが、学校と地域が連携した教育活動を展開する上で、本事業は欠かせないものになっております。様々な教育活動や環境面、安全面での学校支援は生徒の経験拡大のみならず、教職員の働き方改革においても、工夫次第で直接的に効果を期待できると感じております。

来年度は、学校支援ボランティアの活用の拡大や、近隣の大学との連携活動等についても検討していきたいと思っています。

学校支援コーディネーター

加藤千枝子さん(造道小、小柳小、造道中担当)
原田春奈さん(造道小、造道中担当)

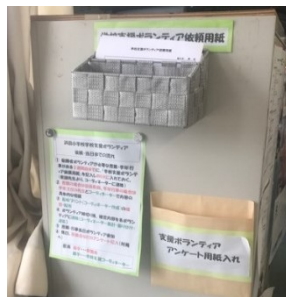


活動の工夫 あれこれ

学校支援コーディネーターとして、工夫されていることを紹介します。

連絡箱の活用

先生方との打ち合わせ等の時間を取るのが、なかなか難しいこともあるので、職員室に「連絡箱」を設置し、連絡をスムーズにする工夫をしています。



浜田小学校の例

企業や団体とコラボ

出前授業・出前トークをお願いできる企業や会社があります。その協力を得て、色々な体験ができる授業実践のための工夫をしています。

ICTの活用

ボランティアの募集をホームページに掲載したり、ボランティア協力者との連絡調整に、SNSやE-mailを使ったりする等、ICTの活用が広がっています。気軽に応募できる、連絡事項がすぐに伝わる、印刷費用の節約などのメリットがあります。

クラブ活動への活用

色々な技術や資格を持った地域の方を調査したり依頼をしたり、多種多様な活動ができるよう、学校の要望に応じて連絡調整をしています。

学校のニーズを把握し、そのニーズに応えるためにコーディネーターの工夫が必要です。学校とコミュニケーションをとり、計画的に行動することが大切です。

校長先生に インタビュー



「地域に開かれた学校づくり」「学校を核とした地域づくり」の両視点に立った特色ある活動が各校で実践されています。

本事業を積極的に活用されている、古川小学校の校長先生にお話を伺いました。



古川小学校
校長 八木橋房代先生

本事業が、子どもたちの育成に役立っているとされることを教えてください。

本校は、保護者が教育に対してとても熱心で、PTA活動も盛んです。子どもの数が少なくなってきた現状において、色々な人の支援を受けて、今まで通りの活動ができることは、とても有り難いことだと思っています。地域のことをよく知っている学校支援コーディネーターは学校にとって心強い存在で、地域とのネットワークが広がり、地域の協力が得やすい環境づくりに重要な役を担っていただいております。

例えば、総合的な学習の時間等で行っている「ねぶた」を題材にした学習において、地域の方々に声を掛けてくださっているので、今まで通りに継続した活動が可能となっています。学校だけでは手が回らない部分の支援をいただけるのは、本事業の良さだと思っていますし、ボランティア登録をすることによって、ボランティア保険が適用され、協力者の安全確保にもつながっています。

子どもたちも先生方も、地域の色々な方が教育活動に関わることに慣れていて、自然な形で定着してきていると感じています。

今後も、休み時間の遊具での安全見守りや入学時における給食配膳補助など、日常の学校生活の中で学校支援ボランティアを活用していきたいと思っています。